株式会社エイジェックスデジタルストラテジーズ

会社説明資料

agex
digital strategies

INTRODUCTION

はじめまして。

数ある会社のなかから、私たちエイジェックスデジタルストラテジーズの
会社説明資料をご覧いただき、誠にありがとうございます。
この資料は、未来の仲間に向けて、私たちのことをより深く知っていただく
ために作りました。背景にある想いや考え方も述べていますので、
少しでも興味を持っていただけると嬉しいです。

この後の4ページで、私たちの特徴を
ギュッとまとめていますので、
まずはご覧ください！

私たちがつくっているものは …

クライアント企業の

サービス でもあります。

Webシステム や **アプリ** でもあります。

ユーザーの

新体験 でもあります。

ユーザー体験を
進化させる
AI 導入支援

新しいメカニズムを
創造する
データサイエンス

クライアント企業の
勝ち筋を見いだす
戦略検討

ビジネスモデル構築支援

クライアント企業に
「スピード」と「柔軟性」をあたえる
内製化支援

サービスの
ファンをつくる
体験設計

私たちは、日々
こんな仕事をやってます！

システム開発

コンテンツ企画

構想を見える化し、
ビジネスを具体化していく
プロトタイピング

課題を発見し、
解決策を探る
運用コンサルティング

UI/UXデザイン

INTRODUCTION

どこよりも、
成長できる会社を
めざしています。

様々な意義と課題を持った
プロジェクトを経験できる。

社会への貢献やビジネス上の戦略など、
次々と目的の異なるプロジェクトに
参加できるため、経験値の蓄積が早いです。

抜擢アサイン

その立場に立ってこそ見える景色があるから、
早期に重要な役割を担ってもらいます。
もちろん、周りがサポートしながら。

何度も、何度も、
考えるカルチャー

今日の答えは、明日には色褪せる。
時代やビジネスの状況は刻々と変化しているから、
一度出した答えに縛られずにいこう。

成長のための制度づくりや投資も
スモールグッドだから積極的！

時代に適応したフレシキブルな会社運営ができる、
程よいサイズの組織であり続けます。

INTRODUCTION

入社動機のダントツ一位は「人の魅力」でした。

あなたの成長が、会社のトッププライオリティです。

目次

00 INTRODUCTION

2 はじめまして
3 つくっているものは …
4 こんな仕事をやっています！
5 どこよりも成長できる会社
6 入社動機のダントツ一位は
7 役員から

01 私たちについて

10 フィロソフィー
11 スローガン
12 ブランドムービー
13 会社概要
14 これまでの軌跡
15 価値創造メカニズム
16 業績ハイライト
17 agexグループについて

02 事業について

19 事業概要
20 事業の特長 ①
21 事業の特長 ②
22 事業の特長 ③
23 事業の成長性
24 今後の事業方針
25 お取引企業について

03 プロジェクトシーン

27 開発の流れ
29 Strategy
32 AI Solution
35 Prototyping
38 Consulting

04 組織とメンバー

42 組織体制
43 プロジェクト体制
44 主な職種とその仕事
45 チームの1週間 ①
47 チームの1週間 ②
49 チームの1週間 ③

05 はたらく環境

52 はたらく環境づくりの考え方
53 はたらき方と休み方
54 給与のしくみ
55 オフィス
57 社内行事・イベントの様子
59 日々のコミュニケーション

06 成長できるフィールドとカルチャー

61 抜擢アサイン
62 成長を促すカルチャー
63 キャリアパス
64 成長のための研修・制度
65 活躍中のメンバー

07 未来へむけて

69 未来へむけて

About

私たちについて

agex
digital strategies

Philosophy

人が、社会が、つぎに進む
あたらしいデジタル体験を。

私たちは、つくり続ける。

人が、社会が、つぎに進む、あたらしいデジタル体験を。

そのために、人々の想い、課題の本質ととことん向き合い、

AIをはじめとしたテクノロジーを駆使しながら、

あらゆる可能性を探求する。

人とデータ、人とモノ、人と人のつながりが、

より深く、心地よくなるように。

さあ、

つぎを、つくろう。

つぎに、進めよう。

つぎを、面白くしよう。

Slogan

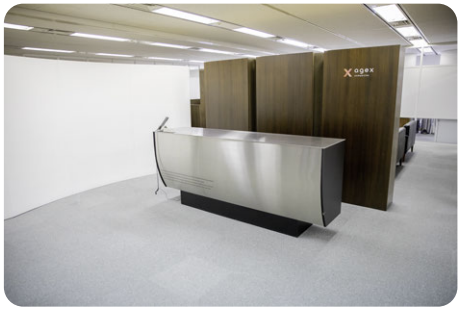
Make Neeext

ブランドムービー「どんな“つぎ”をつくる」篇

https://agex.co.jp/recruit/ds/

会社概要

会社名	株式会社エイジェックスデジタルストラテジーズ agex digital strategies inc.
所在地	〒 604-8134 京都市中京区六角通東洞院堂之前町254 WEST 18ビル
設立	2022年 4月 1日
資本金	9,000万円
代表者	代表取締役　谷口 啓一
役員	谷口 啓一　/　寺田 晃司　/　坂井 翔一
事業内容	(1) WEBサイトの企画・設計・構築事業 ・WEBサイトの企画・設計・構築 ・WEBアプリケーションシステムの設計・構築 ・WEBサーバネットワークの設計・構築 (2) インターネットビジネスのコンサルティング・運用支援事業 (3) UX（ユーザー体験）のコンサルティング・企画立案支援事業 (4) AI導入支援事業
社員数	65名（2026年8月現在）
売上高	16億2,671万円（2026年3月期）
取引銀行	三井住友銀行 京都支店
グループ会社	株式会社エイジェックスカンパニーズ（持株会社） 株式会社XIN　/　株式会社Sharing Kyoto　/　株式会社フラットフィールドテクノロジーズ



これまでの軌跡

2022年度以前は、前身となる（株）エイジェックスコミュニケーションズでの出来事になります。

1999

2002

ネットビジネスのコンサルティングや
WEBサイトの企画・設計・構築事業を目的に、
有限会社エイジェックスコミュニケーションズ
を設立

**京都のビジネスの中心、
烏丸通りにオフィス移転。
広さは20倍以上に！**

増資を行い、株式会社エイ
ジェックスコミュニケーション
ズに組織変更

2008

売上高5億円を達成

2010

社員数が50名を
超える

2014

**当社の前身となる、コンサル
事業部、エンジニアリング
事業部の発足**

2015

2016

**社員数が
100名を超える**

京都第二オフィス
を開設

インバウンド（外国人
観光客）向けマーケ
ティング支援・メディ
ア運営を開始

カフェ「THE THREE
BEARS」をオープン

2018

**売上高10億円を
達成**

2019

株式会社フラットフィールド
テクノロジーズを子会社として設立

2022

**エイジェックス
デジタルストラテジーズ
設立**

ホールディングス化を行い、
事業部門ごとに分社

価値創造メカニズム

私たちが、社会に対して持続的に価値を提供していくためのメカニズムを整理いたしました。

OUTCOME
社会への貢献

社会のデジタル実装を
一歩進める

動ける組織をつくる

OUTPUT
提供する価値

クライアントのプロジェクトに火をつける

社会や環境が変化する中で、新しいことに一歩踏み出すための
情報、手法、リソースを提供し、可能性を広げる。

BUSINESS
価値提供形態

デジタル（WEB開発、AI導入）プロジェクトの
企画設計、実践支援

デジタルプロダクトの運用・
改善支援サービス

INPUT
価値の源泉

VALUE

人の思いをくみ取って考える

技術で人の心を動かす

あらたな可能性を恐れない

本質をとらえ、本質にアプローチする

PROCESS

可能性を広げるプロトタイピング

データを集め、
継続的にAIを育てるプロセス

議論を盛り上げ、
前向きになるミーティング

SKILL

ビジネスと技術をつなぐ
トランスレーション

ユーザー体験を正しくとらえる
データサイエンス

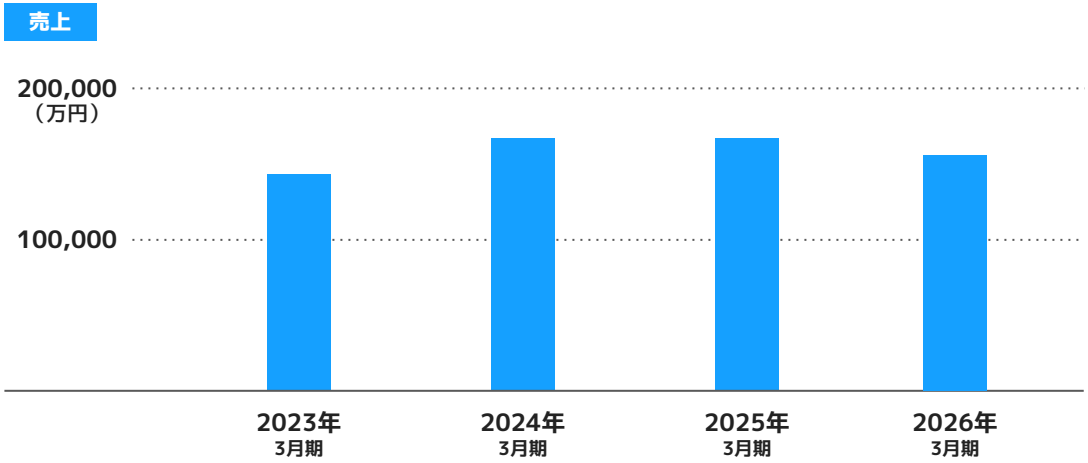
アイデアとロジックで可能性を広げる企画力

業績ハイライト

売上高
16.2 億円
2026年3月期

社員数
65 名
2026年8月現在

社員増加率（年間）
15.3 %
過去2年の平均



agex グループの紹介

新しい価値を、
つぎつぎと生み出す
グループ体制へ

agex digital strategies

株式会社
エイジェックスデジタルストラテジーズ

ITコンサルティング事業

XIN inc.

株式会社XIN

クリエイティブ事業

?

これからも、新しい事業を
次々に立ち上げていきたいと
考えています。

SHARING KYOTO

株式会社 Sharing Kyoto

観光事業 **飲食事業**

クリエイティブ事業

flat field technologies Inc.

株式会社
フラットフィールドテクノロジーズ

ITコンサルティング事業

観光事業

agex companies

株式会社エイジェックスカンパニーズ

各カンパニーの母体としてのグループ親会社

Our Business

事業について

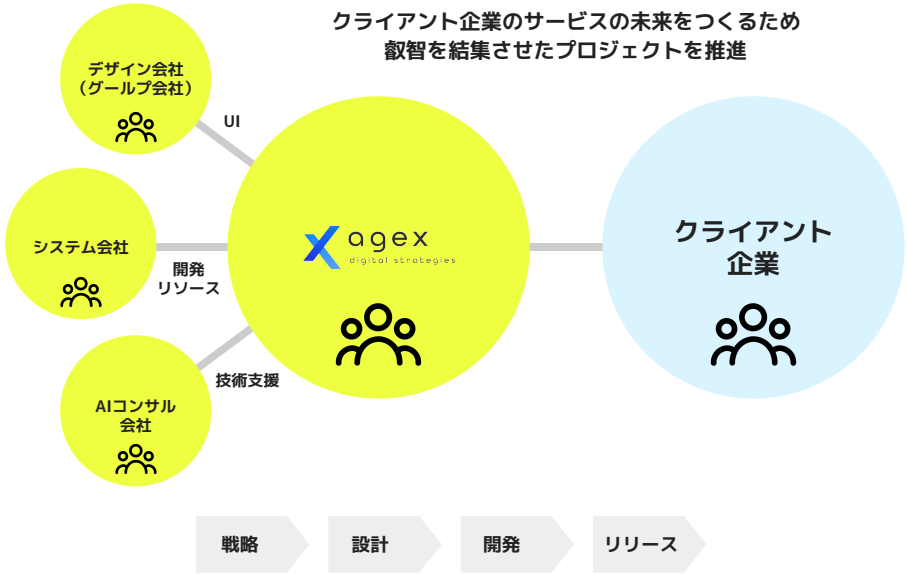
agex
digital strategies

事業概要

熱意をもった人や企業とともに、
あたらしいデジタル体験をつくる。

プロジェクト

クライアント企業のサービスの未来をつくるため
叡智を結集させたプロジェクトを推進



アウトプット例

さまざまなカタチの
デジタル体験

デジタルプロダクト

AIソリューション

データソリューション

運用コンサルティング

- 運用支援ミーティング
- データ分析・効果検証
- 戦略検討
- 改善設計・構築

事業の特長 ❶

つくっているのは
日本屈指の
デジタルサービス。

現在、
手掛けているサービスの

延べ会員数

約 4,200 万人

現在、
手掛けているサービスの

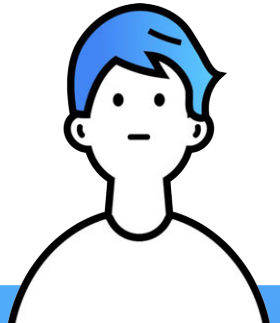
1ヶ月の延べPV

約 1 億PV

1日の延べアクティブユーザー数

約 55 万人

私たちが手掛けているのは、恐らくは知らない方はいない日本屈指のデジタルサービス。TV-CMなどでも度々目にします。多くのユーザーが利用されているため、影響力も大きく、ひとつの企画が業界のムーブメントにもなり得ます。醍醐味もあれば、責任も大きな仕事です。

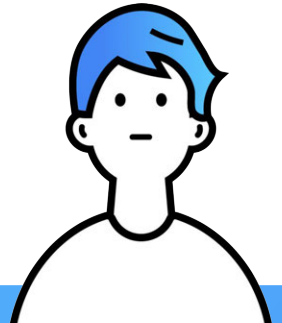


（2024年4月現在）

事業の特長 ❷

クライアント企業の経営陣とともに
ビジネスの最上流から
考える。

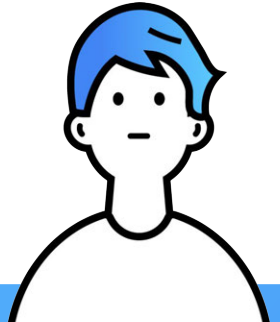
私たちが進めるプロジェクトでは、クライアント企業の経営陣にも参加していただいています。殆どのプロジェクトが、企業の戦略上のキーとなるため、事業の責任者レベルのジャッジが不可欠だからです。また、経営陣の想いや考えを直接聴くことは、私たちのビジネスを捉える「眼」が鍛えられます。



事業の特長 ❸

型にはまらず、
新しい事業領域を拡大中。
現在は、AIの研究・開発を強化。

私たちの事業は、型にはまったラインナップがあるわけではなく、刻々と変化するビジネスの意義や課題に応じて、常に進化、拡大しています。現在は特に、クライアント企業へのAI導入支援を強化。AIによって、データの待つ価値を高め、ユーザー体験を向上させるために、外部のAIコンサルタントを交えながら、研究・開発を積極的に行っています。



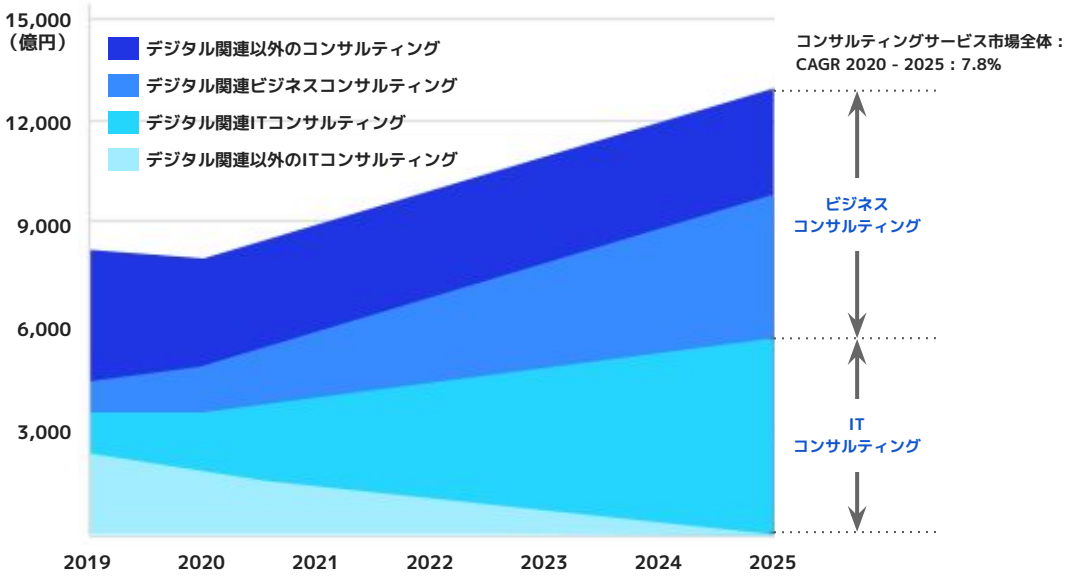
事業の成長性

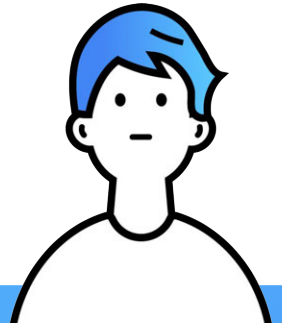
DXの市場規模拡大にともない、
デジタル・ITプロジェクトのコンサルティング需要も拡大し続ける。

コロナ感染拡大によってプロジェクトが凍結・停滞した時期もあったが、その後は需要が急速に回復。
2025年には、9千億円を超える国内市場規模になる見通し。

中でも大きく伸びているのは私たちの主戦場である「デジタル関連のITコンサルティング」。

出典：IDC JAPAN 国内コンサルティングサービス市場予測（2021）





今後の事業方針

需要は伸び続け、高度化していくデジタルコンサルティング領域において さらなる付加価値の向上を目指します。

ACTION 1

AIなど新興技術の積極導入

クライアント企業の新しい課題解決、新しい価値創出のカタチをつくり続けるために、最先端AI技術を含む新興技術のキャッチアップと積極採用を加速させます。

ACTION 2

テクノロジーを駆使した開発とコミュニケーションの自動化・省力化

高度なテクノロジーを活用して、内部プロセスの自動化及び効率化を推進します。
これによりチームの生産性を飛躍的に向上させ、より創造的な業務に注力できる環境を構築します。

ACTION 3

職種とロールの再定義および人員の拡充

組織全体のスキルセットを再定義し、人員の拡充と配置の適正化を実施。

- ビジネス戦略およびサイト企画を推進するビジネスプロデューサーを増員
- UX・クリエイティブを推進するクリエイティブディレクターを増員
- PM・テックリードの役割を担うエンジニアを増員

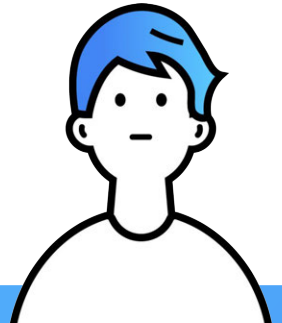
ACTION 4

社員の創造性やイノベーションを支援

- 副業制度の導入
- 10%ルール
- agexサロン
- 本棚、書籍購入枠組み
- 学習教材（Udemy、Kindle Unlimited、10×Eng等）

お取引企業について

クライアント企業とは長期的に深いお取り引きをさせていただくことが多く、一般公開した場合の影響も少なくないため、本資料の中では非公開とさせていただいております。
面談の際には、可能な限りお話しさせていただきます。



Project scene

プロジェクトシーン

agex
digital strategies

プロジェクトの流れ

パートナー企業と連携しながら、専門分野を掛け合わせたコラボレーション開発を行なっています。
なお、プロジェクトの規模や性質によって、開発の流れは変わってきます。

Project scene

プロジェクトのなかで、特に重要な４つのシーンを紹介します！

Project scene

01

次なる一手を見出し
未来のストーリーを
描こう。

Strategy

戦略・企画

「戦略・企画」は、デジタルサービス開発プロジェクトにおいて、クライアント企業の実現したい未来とその道筋を、ともに構想するフェーズです。何度もミーティングを重ね、ありたい姿や具体的なイメージなどをヒアリングしながら、戦略と戦術（企画）を明文化、見える化していき、プロジェクトをスタートラインに立たせます。

戦略・企画に関わる人と仕事内容

クライアント

クライアント企業からは、役員や事業責任者、プロダクトマネージャーなど様々な職種の方々が参加されます。ご依頼の経緯、プロジェクトを通じて達成したいビジネスの具体的な目標や、解決したい社会課題に対する思いなどを共有いただきます。

ディレクター
（ビジネスプロデュース、全体進行）

クライアントのお話を整理し、市場調査や競合分析、ペルソナ策定などを行います。本質的な課題は潜在的な悩みに潜んでいることが多く、何度もヒアリングをしながら明確にしていきます。並行して専門領域を持つパートナー企業を含むプロジェクトチームを立ち上げます。職種を問わずメンバーを招集し、クライアントを巻き込みながら、ビジネス戦略・サイト企画を練り上げます。

エンジニア
（PM、アーキテクト）

プロジェクトの目的、目標、スコープを明確に定義し、それを実現するための全体企画（企画、スケジュール、リソース、予算等）をまとめます。PMはプロジェクトをスムーズに進行させ期待された成果を出す役割です。
アーキテクトは、プロジェクトの要件を満たすために必要な技術的戦略とソリューションを定義し実装します。

デザイナー
（UX/UIデザイン）

プロジェクトの肝となるUXをUIプロトタイプで表現します。クライアントの頭の中にあるイメージや、ユーザーにとっての最高の体験という抽象的な事象を、プロトタイプに置き換え、スクラップ＆ビルドを繰り返しながら目に見え、動く形に具現化します。

使用ツール、アイテムなど

zoom

ターゲットを
ちゃんと定義
したいな
クライアント
が本当に実現
したい夢は
何？
一度、ゼロに
戻って考えてみ
ようよ
戦略・企画の
現場で
飛び交う
声
ここに答えはない。
ユーザーに聴いてみよう
理想だけじゃダメだ。
実現可能かを見定めよ
う
KPIと
照合してみよう
まずは、競合や敵
のことを知ろう

Project scene

02

最新のテクノロジーを キャッチし、 ビジネスを変革するんだ。

AI Solution

AIソリューション

「AIソリューション」は、デジタルサービス開発プロジェクトにおいて、AIテクノロジーを活用し、新しい課題解決、新しい価値創出を考えていくフェーズです。最新のテクノロジーをキャッチアップしながら、サービスの仕組みの中にAIが活かせる箇所を見出し、その手法を確立させていくことで、ビジネスを変革させていきます。

AIソリューションに関わる人と仕事内容

クライアント

ディレクター / プロデューサー

クライアントと対話しながら、クライアントの状況、悩み、直面している課題を掬い上げ、整理します。
解決すべき課題の本丸を特定し、どのようなAIに依って解決が見込めるかの仮説立案を行い、エンジニアたちと協議しながら、仮説検証・改善案の提案を行います。
クライアントのもつドメインナレッジを引き出し、エンジニアの持つAI/DSテクノロジーと組み合わせることで、それぞれのできることを100%引き出し、ベストな解決策に近づける役割を担います。ビジネス⇔テクノロジー間の翻訳者、という意味で「ビジネストランスレーター」とも呼ばれます。

データサイエンティスト / データエンジニア

クライアントの課題、システムを深く理解して、どのようなデータや情報を集めれば課題の本丸を見つけることができるかを考え、解決に向けた試行錯誤を続けます。
回帰・クラスタリング・自然言語分析などを駆使しつつデータを読み解くだけでなく、課題にアプローチするためにどのような新規データ・一般情報を集めるべきかということも含めて考えます。
一定の課題特定ができたら、状況に合わせたスコアリングモデル・レコメンドモデル開発を行い、新たなデータ取得と、さらなる課題追及を進めます。

UI/UX設計エンジニア / フロントエンドエンジニア

ディレクター・データサイエンティスト共に課題検討を行い、それを解決できるUI/UXの設計を行います。実際に触って動かせるプロトタイプを作成し、クライアントとより解像度を高くすり合わせを行ったり、プロジェクトのムードを盛り上げる役割を担います。ChatGPTのAPIなど、外部のAIサービスや、データサイエンティストが作成したモデルと連携させながら、そのパフォーマンスを最大限引き出すUIを考え、プロトタイプとしてアウトプットします。

使用ツール、アイテムなど

AIソリューションの
現場で
飛び交う
声
この海外事例をモデルケースにしてみよう
オッ！データが活き活きしてきたぞ
このデータ分析から、仮説を立ててみよう
昨日のスタンダードは、すでに古いかも
技術的なことよりも、ユーザーの気持ちから考えよう
このモデリング、価値化できないかな

Project scene
03

構想を素早くカタチにし可能性をひろげよう。

Prototyping

プロトタイピング

「プロトタイピング」は、デジタルサービス開発プロジェクトにおいて、構想を具体的なカタチにしていくフェーズです。実際に手に取って使える状態にすることで、新しい手法や気づかなかった問題が見えてくるため、スピーディーに何度もプロトタイピングすることで、サービスの可能性をひろげます。

プロトタイピングに関わる人と仕事内容

クライアント

ディレクター / プロデューサー

クライアントと対話しながら、何を作りたいと思われているのか、何を作ればユーザー体験を向上させ、お客さまのビジネスを成長させることができるかを考えます。
時にはFigmaや紙とペンを駆使して、素早く「紙プロト」を作りながら、より深い要望を掬い上げたり、イメージを膨らませたりすることもします。

フロントエンドエンジニア

ディレクター・UI/UX設計デザイナーと連携して考案した画面案を、実際に触れる・動かせる形にします。
外部SaaSやバックエンドとの連携も駆使しながら、デザイナーができない角度からUI/UXの可能性を広げる提案をも行います。
作成したプロトタイプが「絵に描いた餅」にならないように、実装工程の実現性も考えながら成形・進行を行います。

UI/UX設計デザイナー

ディレクターと連携しながら、「よいユーザー体験」とは何か、「クライアントとユーザーとの接点」がどうあるべきか、を総合的に考え、「UX設計」を行います。
また、そのUXを最大限実現できるUIを設計します。インタラクティブなフォームや、コミュニケーションロスのないコピーワーク、情報の多寡・強弱など、細部にこだわったUIを考案し、クライアントのイメージを具体化していきます。

使用ツール、アイテムなど

webpack

Project Paper

迷うよりも、
どんどん作ろう。
何かが見えてくる
よ
いい感じに
戦略が体験に
なってきたぞ
ここのUIは、
もうちょっと拘りたいな
ユーザーの気
持ちに沿っ
て、組み立て
よう
プロトタイピングの
現場で
飛び交う
声
神は細部に宿る
小さい失敗を
沢山しよう
「どう作る」より
「何を作る」かを考えよう

Project scene
04

クライアントの側で
ともに考え、ともに動き、
併走しよう。

Consulting

運用コンサルティング

「運用コンサルティング」では、クライアント企業が運営するデジタルサービスのユーザー拡大、収益拡大を目的として、意思決定支援やロードマップ策定などを長期かつ継続的に行います。データアナリティクスを軸とした、機能改善の検討や実装、次なる未来の構想など、クライアントと併走しながら進めていきます。

運用コンサルティングに関わる人と仕事内容

クライアント

ディレクター

クライアントのビジネス目標達成やその意思決定を支援するため、定例会議を主催します。コミュニケーション担当およびステークホルダー間の調整役としてファシリテーションを率先し、成果を生み出すための指導者役を果たします。クライアントの市場とビジネスを深く理解し、戦略的なプランを立案・実施します。

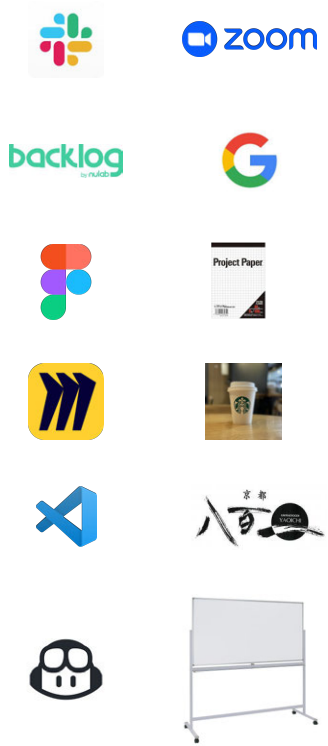
WEBエンジニア

担当するサービスのシステム構造と内部仕様を深く理解しています。クライアントとコミュニケーションを密にし、新機能の追加やシステムの機能改善ではプロトタイプを作成し、プレゼンテーションを通してクライアントの要望を具現化していきます。構築フェーズでは外部のエンジニアに作業を委託し、コードレビューで品質を高めていきます。状況に応じて自らもプログラミングを担当します。

SQCディレクター

サイトの仕様面だけでなく、UI/UXの観点からもシステムの品質管理を担います。エンジニアやUIデザイナーと連携し、設計段階での全面的な品質チェックやリリース時のテスト計画の策定に努めます。またテストの自動化を推進し、システムの潜在的な問題を早期に発見することで、サイト運用における品質管理にも貢献します。

使用ツール、アイテムなど



お客様の「なるほど！」を連発させよう
諸悪の根源をつかんだ！よし、機能改善を考えよう
その事実からどんな仮説が思い浮かぶ？
運用コンサルティングの現場で飛び交う声
攻めか？守りか？
クライアントの真意を聴くためには、アイスブレイクでの場づくりから
正しく判断してもらうための材料を揃えろう
PDCAは早くまわそう

Organization

組織とメンバー

agex
digital strategies

組織体制

新たな領域へチャレンジする組織体制へ。

2024年4月から、新たにAIコンサルティングディビジョンを発足。
UXコンサルティングに加えて、AI・データサイエンスを中心とした事業領域の展開を進める。

UXコンサルティング第1ディビジョン

第1グループ

- ディレクターチーム
- エンジニアチーム
- SQCチーム

第2グループ

- ディレクターチーム
- エンジニアチーム
- SQCチーム

UXコンサルティング第2ディビジョン

第3グループ

- ディレクターチーム
- エンジニアチーム
- SQCチーム

第4グループ

- ディレクターチーム
- エンジニアチーム
- SQCチーム

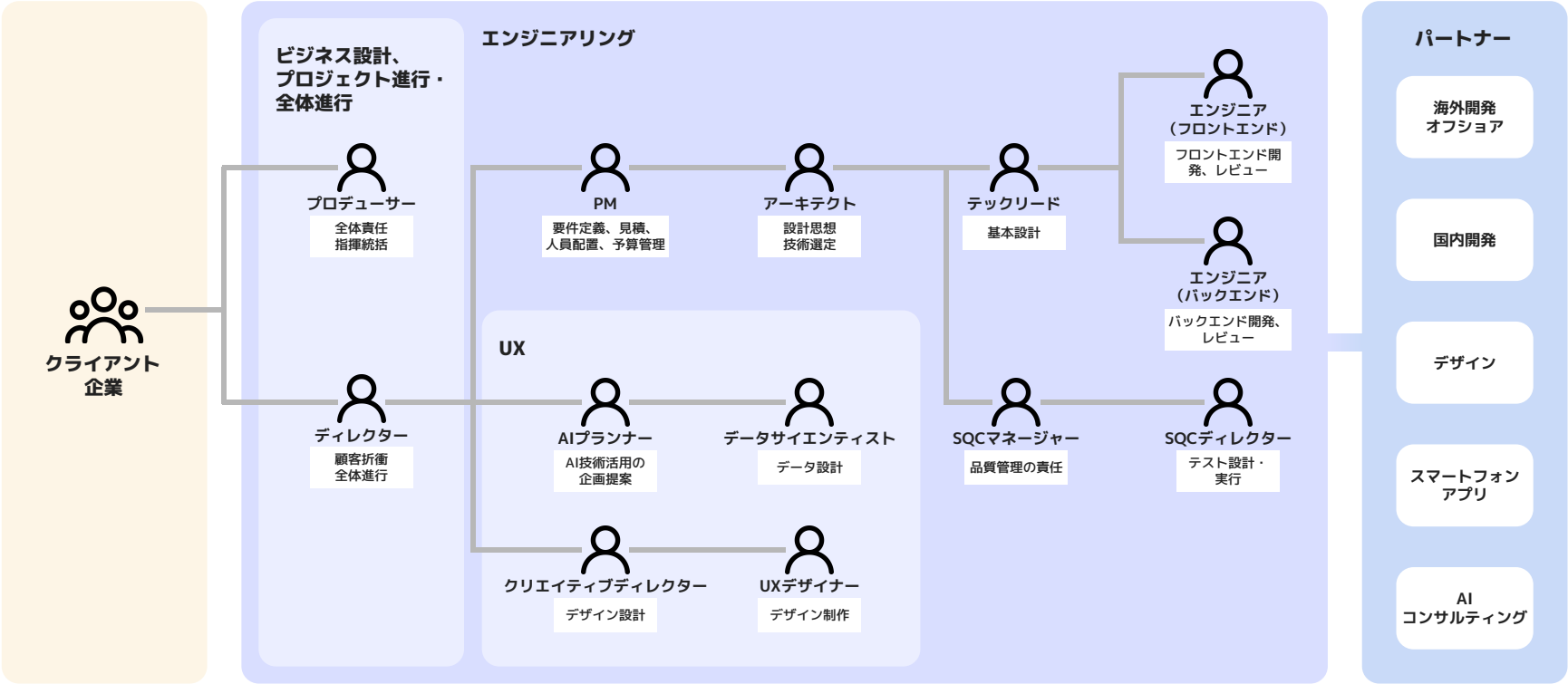
AIコンサルティングディビジョン

- AI・データサイエンスチーム

事業企画ディビジョン

- 事業企画グループ

プロジェクト体制


クライアント企業
ビジネス設計、プロジェクト進行・全体進行
プロデューサー
全体責任 指揮統括
ディレクター
顧客折衝 全体進行
エンジニアリング
PM
要件定義、見積、人員配置、予算管理
アーキテクト
設計思想 技術選定
テックリード
基本設計
エンジニア（フロントエンド）
フロントエンド開発、レビュー
エンジニア（バックエンド）
バックエンド開発、レビュー
UX
AIプランナー
AI技術活用の企画提案
データサイエンティスト
データ設計
クリエイティブディレクター
デザイン設計
UXデザイナー
デザイン制作
SQCマネージャー
品質管理の責任
SQCディレクター
テスト設計・実行
パートナー
海外開発 オフショア
国内開発
デザイン
スマートフォンアプリ
AI コンサルティング

主な職種とその仕事

WEBディレクター

半年から1年に渡るWEB開発プロジェクトでマネージメントとディレクションを担います。プロジェクト全体の指揮、クライアントとの折衝、UX提案、ビジネス設計を通して、クライアントである企業役員や事業責任者の方々が掲げるゴールを達成するためのプロダクト開発を進めます。

プロジェクト上の役割

- ビジネスプロデューサー
- ディレクター

WEBエンジニア

UI/UX設計から、フロントエンド実装、データ構造の設計、システムインフラ構築、データサイエンスまで。当社がプロジェクトで受け持つ幅広いエンジニアリングの領域の中から、それぞれの得意分野や強みを発揮できる役割を中心に、プロダクト開発に携わります。

プロジェクト上の役割

- プロジェクトマネージャー
- アーキテクト
- テックリード
- WEBエンジニア（フロントエンド）
- WEBエンジニア（サーバサイド）
- AIプランナー
- データサイエンティスト

SQCディレクター

新しいユーザー体験を実現するプロダクト開発にクオリティ管理の面から貢献します。システムの仕様管理やプログラムの動作テストといった技術的要求だけでなく、ユーザーの使い勝手や、ビジネス目標の達成といったサービス要求も考慮し、高い水準で品質管理を行います。

プロジェクト上の役割

- SQCディレクター
- SQCマネージャー

チームの1週間

UXコンサルティング
プロジェクトチーム

Weekly Digest

振り返り ミーティング

会議が終わったら、すぐに振り返り。早い振り返りと段取りがプロジェクトとチームに弾みをつけます。

お客様との会議

プロジェクトの会議は1週間の集大成をもって臨みます。

戦略検討

マーケット情報やユーザーデータを紐解きながら本質的な課題を探ります。

WED

プロトタイピング

プロトタイプの作成は
スピーディに進めます。
1日で10以上の画面を
作成することも。

アーキテクチャ設計

大掛かりな改修の際は、
技術的な戦略や
ソリューションも
定義します。

THU

グループ交流企画

くじ引きで決めたメンバーで
開催するトーク会。
盛り上がったらそのまま
ランチへ！？

FRI

リハーサルミーティング

大切な会議の直前は
本番さながらにリハーサルを
行い、提案内容の
最終チェックを
します。

スマホアプリ開発会社との打ち合わせ

専門性の求められる領域は
他社とも積極的に
コラボレーション。

チームの1週間

UXコンサルティング
運用改善チーム

Weekly Digest

開発オリエン

新しい機能の開発を進める際には、開発パートナーや品質管理のメンバーとオリエンテーションを実施。

チーム出社日

ディレクター、エンジニア、SQC、チームごとにタイミングを合わせて出社しています。

WED

THU

FRI

お客様やパートナーとの3社間ミーティング

時には20人以上のメンバーが参加することも。

お客様との相談（プロデューサー）

お客様の中でもプロデューサーの方との擦り合わせは特に重要。密にコミュニケーションを取っています。

エンジニアLT会

興味のあるテーマを深掘りし持ち回りでLT（ライトニングトーク）を実施。

お客様との開発会議（企業サイド）

企業ユーザー機能の開発メンバーとの打ち合わせ。

チームの1週間

AIソリューションチーム

Weekly Digest

チーム検討ミーティング

お客様との会議に向けて各自の検討/調査内容を持ち寄ります。

情報収集

めまぐるしく変化するAI業界の動きを日々キャッチアップしています。

データ・ログ分析

AI機能の検討には課題の特定が不可欠。課題特定のためにログを分析します。

モデル作成

課題に応じてモデルを作成したら、どうチューニングするのが良いかを検討します。

WED

プロトタイピング

AI案件でもプロトタイピングは
大事。実際に見えるモノを
作りながらモデルの
精度実証をします。

オンライン勉強会への参加

興味深いテーマがあれば
積極的に参加。
オンラインだと
参加もイージー。

THU

パートナー企業との打ち合わせ

統計数理技術を専門に扱う
パートナー企業と
週に1度打ち合わせを
しています。

オフィス出社日

週に1度出社日を決めて
顔を突き合わせて
検討を深めます。

FRI

お客様とのミーティング

1週間の検討結果を
お客様に提案！

Environment

はたらく環境

agex
digital strategies

はたらく環境づくりの考え方

BACKUP

**メンバーの自律的な
キャリア開発を
バックアップしていきたい**

個々のキャリアを充実させ、可能性を広げることが、会社の発展につながっていく

QUALITY

**仕事も、自分の時間や人生も、
どちらも高い水準で
充実させてほしい**

UPGRADE

**時代や市況に合わせて
持続的に待遇や報酬を
アップさせていきたい**

はたらき方と休み方

在宅と出社の
ハイブリッド勤務

出社しない人は、年に数回ほどしか出社しません。出社する人は毎日のように出社しています。コミュニケーションを活性化させるために、プロジェクトキックオフや打ち上げなど集まる時は集まってワイガヤしています。

フレックス
コアタイム制

フレックスコアタイム制をとっており、コアタイムは10時〜16時、それ以外は裁量にお任せし、中抜けも自由です。クライアントとの会議やチームで集まってのワークが中心なので、コアタイムを設けていますが、それ以外は 5〜22時の範囲であれば自由に勤務時間を設定して働けます。そのほかの時間も申請すれば勤務可能です。

遠方居住可
（レベル3以上の社員）

レベル3（⇒ 評価水準で「一人前」）になれば、朝10時に出社できる範囲内の国内居住地で勤務できます。オフィス出社が必要な時は出張扱いになります。少しずつ浸透しはじめて現在4名に適用。

年間休日120日以上

フレキシブルな働き方ができる制度が充実していますが、年間休日も120日以上の水準で設定しています。

記念日、リフレッシュ休暇取得を
積極オシ

自分や大切な人との記念日、3〜5日ほどのリフレッシュなどで有給休暇取得していただくことを推奨しています。普段、忙しい方にこそ休んでもらいたいというカルチャーが根強く浸透しています。

時間単位での有給休暇
取得可能

在宅勤務時に好評！

数時間で済むような私用に対応できるため、1時間単位で有給休暇を取得できます（年5日の範囲内）。仕事と私生活のバランスを保ちやすくなりました。

給与のしくみ

3つの要素で給与が決定します。

職制・職種
職務

＋

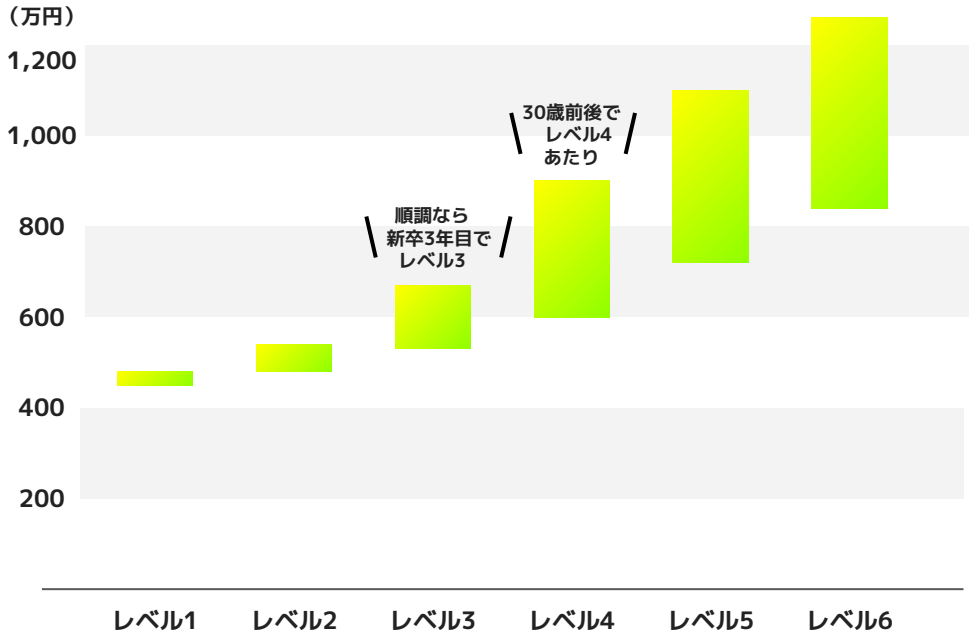
レベル

＋

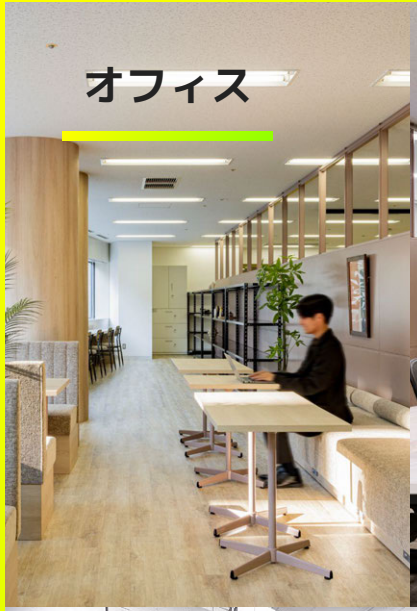
評価

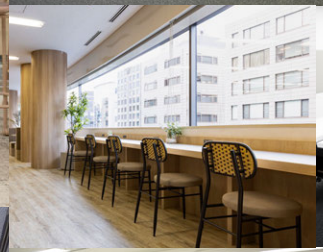
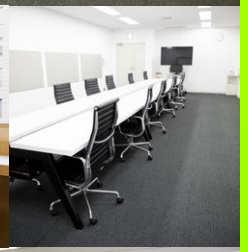
給与水準

IT専門職（WEBディレクター、WEBエンジニア、SQCディレクター）のケース



オフィス



NEW!!

2024年9月

オフィス大リニューアル！

POINT

プロジェクト MTGスペース

プロジェクトを中心に仕事をする私たちのオフィスの象徴として、フレキシブルに使えるMTGスペースを複数設置します

POINT

ナチュラルなデザイン

リラックスした雰囲気からアイデアが生みだされることを期待して、全体をニュートラルなテイストで設計

POINT

多様な個人席

作業に没頭できる席から、陽のあたるカフェのようなテーブルまで、それぞれの仕事の仕方にあった席が選べるフリーアドレス形式

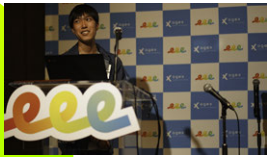
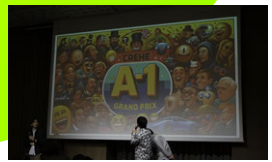
モニタ貸与

マルチディスプレイ用にモニタを大量購入。在宅/出社を問わず必要に応じて貸与。

在宅ワークをサポート！

在宅勤務手当
月3,000円
環境整備金
月1,000円

キックオフ

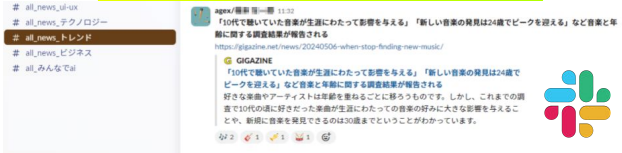



日々のコミュニケーション

zoomやリアルで

ミーティングは多め。クライアントとのプロジェクトミーティングはもちろん、エンジニアが集まってのミーティングや1on1も活発です。

slackで



基本的なコミュニケーションはチャットです。
プロジェクトのチャットはもちろん、日々のニュースやトピック、雑談チャネルもあります。

To grow

成長できるフィールドと
カルチャー

agex
digital strategies

プロジェクトへの抜擢アサイン

大舞台からの景色を見ることが、最大の成長機会です。

CASE 01

**トレンドの技術を導入する
ワクワク感。**

ChatGPTを導入する案件を担当。事例が少ない中、先輩社員の方とも協力しながら無事リリース。トレンドの技術を使った機能の開発にとてもワクワクしました。

UXコンサルティング
第1グループ
WEBエンジニア
K. T.

CASE 02

**挑戦させてもらえる
環境に感謝**

大規模サイトのインフラ構築を担当。普段はバックエンドを担当することが多いが、挑戦してみたいと言ってみたらやらせてもらえた！いろんな分野で勉強、実践ができるのは嬉しい。

UXコンサルティング
第2グループ
WEBエンジニア
T. J.

CASE 03

**プロジェクトを
一気通貫で担当**

入社２年目からメインディレクターとしてプロジェクトに参加。企画からリリースまで全工程に関わることで、ディレクションのノウハウも自然と身につきました。

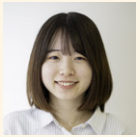
UXコンサルティング
第2グループ
WEBディレクター
O. T.

CASE 04

**「助かった！」の言葉が
一番嬉しい。**

入社1年目に管理画面の機能統合プロジェクトに参加。小さなことでも気づいたことはやってみる！相手にとってベストな方法を考え・試していくことが円滑な進行につながりました。

UXコンサルティング
第2グループ
WEBディレクター
S. A.



成長を促すカルチャー

まずは、サクッと
つくってみよう

チャレンジは
楽しみながら

一人でできないことは、
みんなでやろう

人の心と
向きあおう

「好き」を
武器にしよう

ともに、つぎに進もう。

相手と同じ
熱量を持とう

政治を知ろう、
経済を知ろう、
世界を知ろう

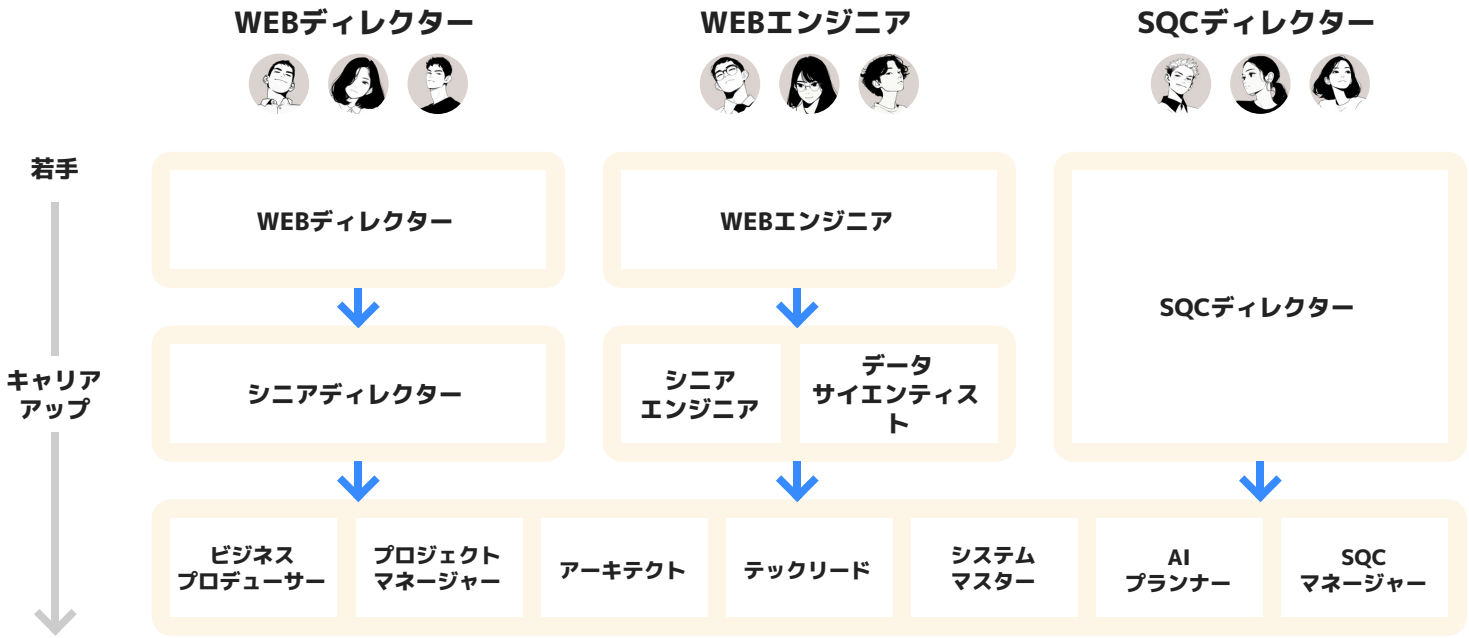
本質を問う

考える、考る、
考える

年齢やキャリアに
関係なく
意見を聴く。

キャリアパス

各職種において、まずは戦略・企画といった上流工程から、開発・リリースといった下流工程まで、ひと通りのスキルと経験を積み重ねます。一定のスキルを身につけた後は、より高い専門性を要するポジションにキャリアを展開していきます。キャリアが進んだ段階では職種間の境界も無くなり、プロジェクトの状況や時代の潮流に合わせて、求められる役割を柔軟に設計しながら進めていきます。



成長のための研修・制度

あなたの好奇心が、
未来をつくるんだ。

NEW

じゆう時間

10%ルール

法定労働時間、週40時間のうち、10%（4時間）を、個人のキャリア開発に自由に使えるようにする制度。各種研修や Eラーニングを利用できます。

資格取得支援

本人の主体的な学習のモチベーションアップを期待して、資格取得支援制度を設けています。対象資格に合格した場合、1資格あたり1000~7000円/月の手当（最長3年間・上限 2万円/月）と受験費用（実費）が支給されます。IPA情報処理、AWS認定資格、データサイエンス・統計検定、UX検定など。

外部講座受講促進

スキル向上やキャリア発展を促進するために、業界団体が主催するセミナーや、E-ラーニングサービスの講座受講費用もサポートしています。ディープラーニング協会、データサイエンティスト養成講座、TechAcademy プログラミング講座など。

書籍購入

知識習得やアップデートを目的に、書籍や出版物の積極的な購入を推奨しています。社内図書には、書籍や雑誌だけでなく、Blue-rayや漫画など、ボキャブラリに富んだラインナップが並んでいます。本人やチームが必要と考えるものであれば基本的に購入して良しとしています。

活躍中のメンバー

ビッグデータとAIで
「人間」を描き出す

私が所属するAIコンサルティンググループは、データサイエンスとAIを駆使してクライアント企業の新規サービス開拓を担う部署です。
積極的にAIを活用しながら、クライアントのサイトデータを分析し、レコメンドロジックやUI/UXの改善提案を行っています。常に考えているのは、データを単に数字として見るのではなく、その背後にあるユーザーの行動、さらには心を読み取ることです。ユーザーが真に求めているものは何か？そしてそれはどんな導線で届けるべきなのか？それらを調べ、考え抜いた先で、皆にとって最適な体験を実現する、それが私たちの目指すところです。

AIコンサルティンググループ
データエンジニア

入社4年

K. K.

活躍中のメンバー

初めて担当した案件、自分が開発したものを見た時の感激が忘れられず

入社して1ヶ月。初めて担当した案件は、担当サイトで展開されているコンテンツのデザインをリニューアルするプロジェクトでした。そのサイトは一般的にも広く知られているサービスであり、検索するとすぐに出てきます。企画からリリースまで1年以上かけた長期のプロジェクトだったため、無事リリース後、お客様からはたくさん感謝のお言葉を頂きました。
リリース後、自分のスマホでリニューアルされたデザインを初めて見た時は、最初の担当案件という事もあり、この上ない感激でした。

UXコンサルティング
第4グループ
WEBエンジニア

入社5年

I. A.

活躍中のメンバー

お客様のご要望を先読みし、「待ってました！」と言っていただける喜び。

お客様との会議にて、リリースした施策の効果分析や、今後の施策案（プロトタイプ）をご共有する機会がしばしばあります。その際に、「○○の観点で見るとどうなりますか？」「こういうパターンは考えられますかね？」とコメントをいただくことがあります。
そこで自信を持って「実は私たちもそう思い、そちらの資料もご用意しています！」と言える瞬間にやりがいを感じます！
会議に向けて、社内のメンバーでお客様の目線に寄り添った議論・準備ができた結果だと思い、チームの魅力を感じられる場面でもあります。

UXコンサルティング
第2グループ
WEBディレクター

入社9年

S. T.

Future

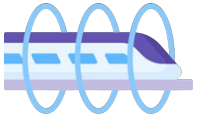
未来へむけて

agex
digital strategies

未来へ向けて

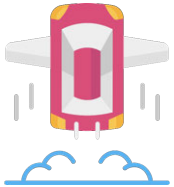
未来につながる新たな領域を
ワクワクしながら探求します。

私たちエイジェックスデジタルストラテジーズは創業3年目を迎えました。
前身のエイジェックスコミュニケーションズ時代から数えると25年以上、インターネットを通じてたくさんのユーザーや企業の出会いを創出してきました。熱意を持ったクライアントと共に社会課題やビジネスの本質に挑むプロジェクトを数多く経験してきました。



インターネット、モバイル、データサイエンス、AI。時代やニーズの変化と共に私たちが取り組む技術は変わってきましたが、今も昔も、そしてこれからも私たちがこだわり続けるのは、最高のUX（ユーザー体験）をユーザーに届けるということ。感動や共感を呼ぶ新しい「何か」をつくるということ。

これからの、さらに変化の激しい未来に、私たちが何をやっているのか。脳で制御するインターフェースを使ったサービスや空飛ぶ車やハイパーループをつくっているかもしれません。リアルとバーチャルを融合させた「誰も見たことのない、言語化できていない新しい”何か”」かもしれません。「Make Neeext」をスローガンに私たちは未来の主軸となる新たな領域の可能性にワクワクしながら、考えながら、進んでいきたいと思います。



取締役 CEO
谷口 啓一

ともに、つぎに進もう。

JOIN US !

新卒採用、中途採用の募集要項は、こちらに掲載しております！
また、今すぐご応募いただく必要はありません。
ご興味をお持ちいただけた方はカジュアルにお話しましょう。

https://agex.co.jp/recruit/ds/